

西姉体晩酌の集い

(水沢・姉体地区)

◎活動紹介

新興住宅団地で開催されている男性の集いです。現職時代にはなかなか地域行事に参加できず、ほとんど地域のお世話になっていたことへのお礼と、地域での新しい出会いを求めて始めました。

毎月1回、夕食前の午後4時から5時までの1時間。40代の若い人も参加し、集まった仲間の顔ぶれ次第で話題が流れていく気楽な集いを楽しんでいます。



基本情報

開催日時	毎月第3日曜日 16:00～17:00 (取材日：H29.9.17)
会場	西姉体会館
参加者	西姉体行政区に住む男性 (近隣からも参加有)
参加費	無料
窓口	千葉 忠範さん

主な活動内容

- 参加者各自がお好みの「飲み物」と「つまみ」を持参して語り合う
- 乾杯で始まり、三本締めで終わる
- 「集いニュース」を作成し回覧板で全世帯に開催日時のお知らせ
- 時々特別企画をして、特別に会費を集めて「つまみ」を購入しみんなで語り合う

活動の経緯・経過

- 東日本大震災で「いのちときずな」の大切さを再確認。高齢者同士で継続した会合をすることで絆を強めていきたいと思った
- 現役を退いて年を重ねるごとに繋がりや輪が狭くなってしまいうため、教員OBなどが発起人となり、地域に居ながら新たな出会いや交流の輪を創る一助になることを願って晩酌の集いを発足
- 町内会役員会に協力をお願いし了承を得、町内会の積極的な協力で回覧板で参加者を募った（H24年2月に第1回を開催）
- 3回目から世話人会が発足。世話人会は、相互の意思疎通と集いの運営など協議を要する時に随時開催し、会場準備も担っている

特徴・特色

- 月1回1時間、参加者がお好みの「飲み物」と「つまみ」を持参して語り合う
- 会員制をとらず、世話人が中核として「集い」を開催
- 集いが終わったら家族と一緒に食事をする
- お酒を飲まない人も参加して繋がる

活動風景

参加者各自はそれぞれ好みの飲み物とつまみを持ち、会館に集まります。会が始まり、語り合う表情は穏やかで、満足度は高いと感じました。時間を守り帰宅するので家族の評判も良いそうです。

誰もが得意そうに会の説明をしてくれました。参加者は県外出身者もいて、出身地はばらばらとのことでした。災害時の避難、世代間交流事業、新しい地域づくりを語り合う機会になっていました。



参加者からは「この集いのおかげで同級生に再会できた。まさか同じ町内に住んでいるとは思わなかった」「始めはあいさつ程度だったが、町内会の役員に抜擢された人もいる。人材発掘の機会にもなっている」「妻を亡くして一人暮らしはさびしい。集いを増やして欲しい」などの声がありました。



飲み物とつまみ（上）

集いの開催時間内に飲みきれる量、自分が食べる分だけ持って参加します。

看板（左）

「晩酌の集い」開催時間に会館に出している参加者手作りの看板です。

運営者の声



【世話人会 千葉 忠範さん】

補助金の話もありましたが自発的に活動する趣旨からお断りし、世話人会で運営しています。

この集いをきっかけに、80代、90代になっても言葉を交わし合える基盤が出来るといいなと思っています。若い世代も参加できるようにという方針を堅持して運営していきたいと思っています。